科目ナンバリング	U-LAS03 10006 SB48						
授業科目名<英訳>	外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Law, English)I-E1			担当者所属職名・氏名	法学研究科　准教授　宇治　梓紗		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	外国文献研究		使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	金3	配当学年	2回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本講義では、政治・経済理論を手がかりに、主権国家を取り巻く国際政治経済秩序への理解を深める。これを通じて、政治学の専門書の読解力を養い、英語文献への抵抗を払拭する。また、国際政治経済について多角的かつ理論的に考察することにより、学問的な素養を身につける。

本科目では文献の精読が求められるが、逐語訳を行うのではなく、各段落・セクションの構造および大意を捉え分析する。さらに、理解した内容をもとに考察して自分なりの見解を導き出すことを目指す。というのも、英語で読解した内容を消化して「アウトプット」に結びつけることが、今日の社会で求められるスキルだからである。

[到達目標]

・政治学に関する英語文献の読解力と考察力を身につける。
・国際政治経済秩序に対する学問的な分析視座を習得する。

[授業計画と内容]

第1回目 イントロダクション
授業の進め方、文献の内容紹介のほか、講読にあたり必要な基本知識の解説を行う。

第2-13回目 テキスト講読
各回、要約担当者とディスカッショントピックを設定する人をそれぞれ４人割り当て、要約とディスカッショントピックを事前に提出してもらう。（一人あたりの要約担当箇所は６～７ページ程度)おおよそ、以下のテーマを扱う。

・経済システムにおける市場と国家の役割
・今日のグローバリゼーション
・自由貿易の理論
・国際自由貿易制度の発展
・グローバル経済における政治のトリレンマ
・グローバルガバナンス

第14回 資本主義システムの再考（まとめ）

第15回　フィードバック

※フィードバック方法は別途連絡します。

外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1(2)へ続く↓↓↓

外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1(2)

[履修要件]

外国文献講読（法・英）は専門への導入コースなので二回生以上を対象とする。

[成績評価の方法・観点]

【評価方法】
平常点60%（要約課題30%＋ディスカッショントピックの設定10%＋授業中の発言等による授業への積極的な参加20%）および期末レポート試験の点数40%により評価する。

[教科書]

Dani Rodrik 『The Globalization Paradox』（WW Norton &Company, 2011）**（教科書はPDFにて配付するので、購入の必要はない。）**

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

予習として、テキストの指定したページを、その回の要約担当であるかを問わず全員が事前に読んだ上で、理解できた箇所と理解できなかった箇所をそれぞれ特定しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

この科目は法学部生を対象に開講される科目です。履修人数に余裕があれば、法学部以外の学生も履修することが可能ですが、法学部事務室で事前申込が必要です。詳細は履修（人数）制限に関するお知らせで確認してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]

法学部